ＭＪ進路通信：「進路指導室から、未来へ」

～ようこそ、アップデートされた４年目の案内所へ～

前橋女子高校進路指導部

令和８年度　第 38 号

令和８年 11 月 17 日（火）発行

■期末考査に向けて



25 日（水）から期末考査が始まります。４日間の長丁場になりますが、１年間の取り組みの集大成として、しっかり準備をして臨みましょう。３年生にとっては**<u>たぶん</u>**これが最後の定期考査です。インフルエンザもまだ流行っています。気候も急に冬本番の感じです。週末は体調管理に十分注意してまずは４日間休まず試験に臨むこと。「１年間しっかり頑張れた」という思いをもって、年末年始が過ごせるといいですね。

また、３学年ではこの期間中「志望校検討会議」が行われ、３学年すべての生徒の志望校や学習の状況などの情報共有を行います。指導にあたるすべての先生方が意見を出し合い、個々の生徒に対しての最適なアドバイスを模索していきます。その後行われる３者面談は、こうした準備のもとで進められていきます。３年生の皆さんはぜひ、いろいろな先生に意見を聞いてみてください。

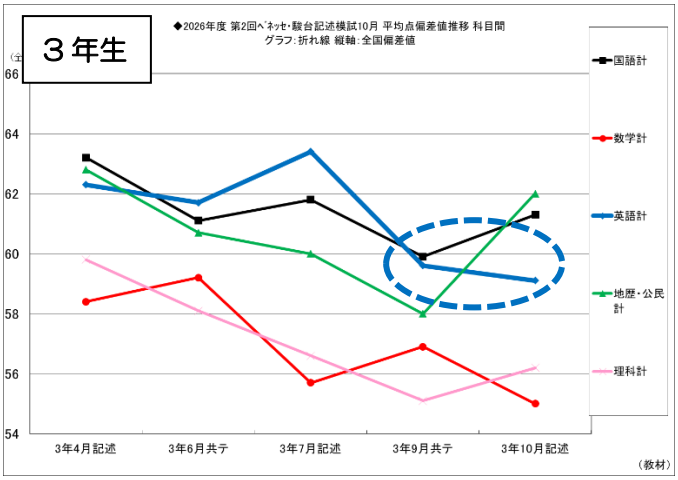
期末考査が終わるともう１２月。１年の締めくくりの時期がやってきます。この１年間をしっかり振り返る１か月にしたいですね。

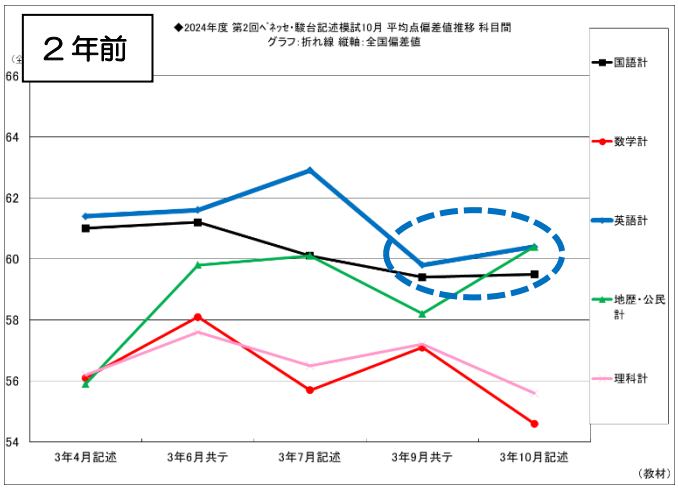
■英語を制する者は受験を制す？

文系理系問わず、ほとんどの受験生に課される入試科目「英語」。「英語を制する者は受験を制す」と言われるくらい、入試の結果を左右する重要科目です。一方、受験直前期になると文系は社会、理系は理科・数学に重点を置きがちで、英語の比重がどんどん小さくなる傾向も見られます。

昨年度、東大合格者 30 人越えを実現した富山県の T 高校では、入学時から「圧倒的な英語力で受験を乗り切る」を目標とし、実際英語を軸とした総合力で素晴らしい実績をあげました。T 高校では「英語は裏切らない」と常に言い続け（「数学は時々裏切る」とも言われたらしい）、最後までそのペースを落とすことはありませんでした。この学校で伝えてきたことを補足するなら、特に長文読解をしっかりこなし続けていれば、どの大学でも、傾向が仮に変わっても振り回されずに安定した得点を確保することができます。一方、例えば数学の入試というのは多くの大学で大問 4～6 題程度。もし苦手な分野や相性の悪い問題が出題されれば努力に見合った得点がとれなくなるリスクが必ずあります。先月行われた３年生のベネッセ駿台記述模試においては英語に十分な時間と労力が割けていないのではないかという懸念が見られます（ちなみに、下段のグラフは２年前の前女生の成績推移です）。

注：教科により母集団が異なるので、教科ごとの優劣を表すものではありません。





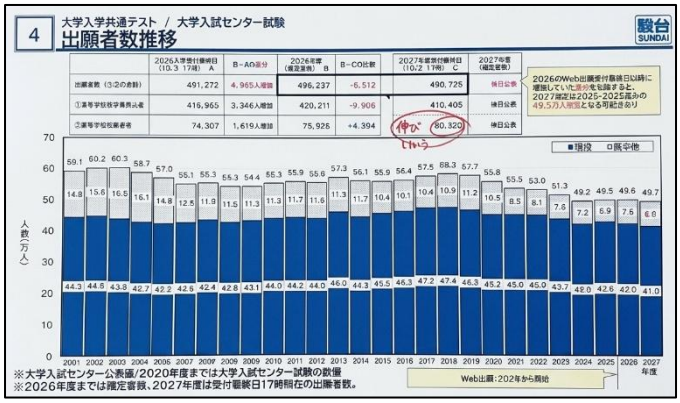
期末考査が終わると３年生は共通テストに向けての対策が中心となります。理科や社会の遅れを取り戻そうと、焦って教科のバランスを崩した学習に向かってしまうと思わぬところで足下をすくわれる可能性があります。

なお、数学で裏切られないようにするためには「覚えた問題が出るといいな」的な、暗記に頼った学習を一刻も早くやめ、考え方や背景、複数のアプローチ方法などをしっかり考えた「自分の頭で考える、思考力を鍛える」学習に取り組むことが、どんな問題が来ても対応できる実力の養成につながると思います。

■駿台予備校「大学入試研究会」からのトピックス

この時期は、3 年生の模擬試験の状況などから今年度の入試の傾向が見えてくる時期で、多くの業者が入試傾向分析を行い情報提供しています（2 年生は明日進路講演会がありますね）。先日駿台予備校が実施した研究会でも多くの情報提供がありました。その中から、受験生の皆さんに共有しておきたい情報をいくつか紹介します。

資料 NO．4（今年度の出願数）



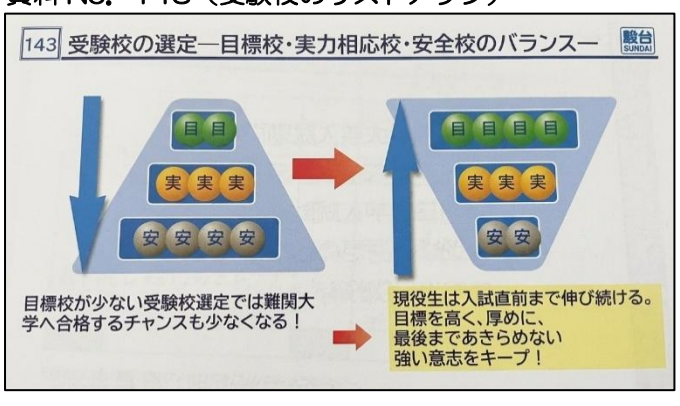
・昨年の共通テスト難化の影響で、例年と比べて既卒生が増加している入試（受験人口は横ばいなので必要以上に恐れる必要はない）

資料 No．145（共通テスト後のスケジュール）



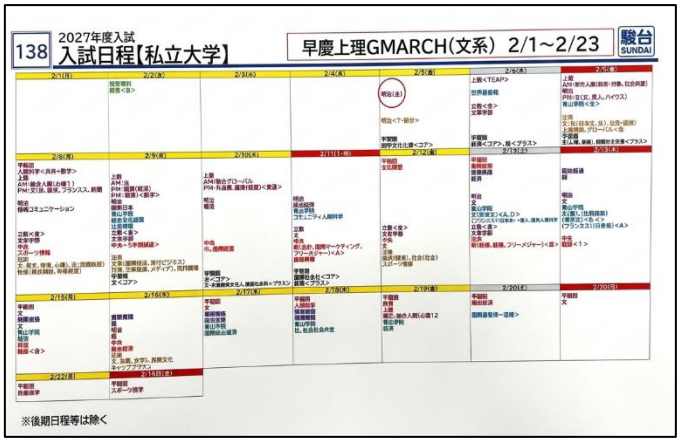
・共通テスト終了後からの 1 ヶ月が、実は現役生が一番実力を伸ばす時。特に直後 1 週間で第一志望の決定や、私大受験校の練り直しなどに時間をとられると影響が大きい（事前の準備がとても大切）。

資料 No．143（受験校のリストアップ）



・安全校をたくさん用意すればよい、というものではない。現役生は、これからの伸びを念頭に置いて「行きたい大学（目標大学）をたくさん考えておくことが合格のチャンスを増やすことにつながる。

資料 NO．138・139（私立の入試スケジュール）



・私大受験は、他の大学の入試日も意識して計画を立てることが大事。同じ日に複数の大学が入試を実施していれば、受験生は分散して倍率が下がる。受験校より上位校が入試を行っていれば上位のライバルが流入する可能性が下がる。

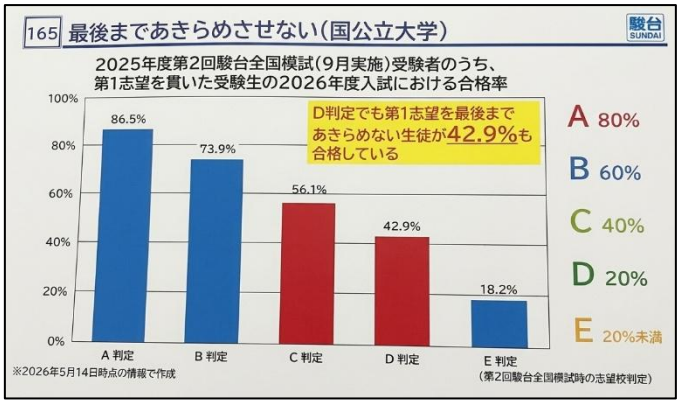
資料 No．54（後期選抜は、大きなチャンス）



大学<後期>	後期日程 募集人員 2026	2025	2025との差	志願者指数 2026/2025	2026入試結果 志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	実質倍率	受験率
北海道大	438	438	0	93	3857	1597	532	8.8	3.0	41.4%
弘前大	142	150	-8	104	1409	582	172	9.9	3.4	41.3%
埼玉大	422	434	-12	89	3798	1685	498	9.0	3.4	44.4%
千葉大	291	291	0	96	4326	1620	387	14.9	4.2	37.4%
東京海洋大	111	111	0	93	912	467	136	8.2	3.4	51.2%
電気通信大	270	270	0	135	2798	1405	351	10.4	4.0	50.2%
一橋大	83	83	0	84	1598	320	97	19.3	3.3	20.0%
横浜国立大	469	470	-1	88	5148	2187	612	11.0	3.6	42.5%
東京部立大	205	203	2	100	2607	938	251	12.7	3.7	36.0%
神戸大	408	409	-1	100	4235	1726	493	10.4	3.5	40.8%
広島大	215	253	-38	78	1733	554	254	8.1	2.2	32.0%
九州大	259	259	0	98	2183	823	315	8.4	2.6	37.7%
大阪公立大	270	270	0	111	2834	1484	338	10.5	4.4	52.4%

・後期入試は、前期で合格した受験生が抜けていくので会場はスカスカ。実質倍率が 1 倍台というところも多い。国公立の優先度が高い人は、後期まで粘ることで大きなチャンスが生まれる。

資料 No．165（D 判定は、諦める判断になるのか）



・D 判定からの合格は意外に多い。諦めずに最後までやり抜く覚悟があるかどうかが結果を大きく左右する。